

第 3 章 地域教育支援

第 3 章 地域教育支援

1 学校支援地域本部事業

学校支援地域本部では、地域住民等が学校教育に対する支援活動を行うことにより、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の育成、教員の負担軽減や子どもと向き合う時間の増加、地域社会全体の教育力の向上を図っている。

学校支援地域本部事業実施校では、学校のニーズを把握する地域コーディネーターを中心に、地域のボランティアの方々が学校教育や環境整備等の学校支援活動を行っている。ボランティアは、主に保護者や地域の方、企業やNPO法人の方々が担っている。

実施校の支援活動は様々であり、主なものとしては、学習支援活動、部（クラブ）活動支援、環境整備、登下校安全指導、学校行事補助がある。

また、地域住民のボランティアによる学校支援活動は、これまで地域住民が培ってきた知識や技術の成果を活用する機会にもなっている。開始時は、小学校 6 校での実施であったが、年々実施校の数が増加し、令和 3 年 3 月現在、区立小学校 16 校、区立中学校 7 校で実施している。

(1) 主な支援活動内容

学習支援活動	本の読み聞かせ、家庭科授業等の補助、校外学習のサポート、外部講師の派遣
部(クラブ)活動支援	部（クラブ）活動の指導支援
環境整備	校内・校庭・花壇等の環境整備、緑化活動、図書室の整備
登下校安全指導	登下校の指導と見守り、スクールガード活動の支援
学校行事	運動会・学習発表会など学校行事の準備・運営補助、保護者会時の児童預かり支援
その他	学校ホームページの更新、ボランティア募集

(2) 各実施校の特徴的な（または特に力を入れている）活動内容

実施校	開始年度	主な活動内容
柳 町 小	平成20年度	通学時の見守り 児童の安全確保 校庭見回り 校外学習の安全確保 読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ活動
林 町 小	平成20年度	学習環境整備（机・椅子へのテニスボール取り付け） 玄関水槽管理 運動会の受付協力 ふれあい給食会における町会の招待 防災宿泊体験学習の運営補助 ゲストティーチャーの選定調整
明 化 小	平成23年度	器楽部の練習サポート 家庭科等学習支援 図書室等の管理補助 保護者会時の 1年生児童預かり 吟行会の同行
青 柳 小	平成27年度	スクールガード活動 1年生の給食時配膳補助 校外学習時の引率補助 ミシン学習時の誘導補助
関口台町小	平成22年度 (21年度設置)	読み聞かせボランティア 放課後学習教室の支援 席書会支援 クラブ活動の指導補助・支援 学校花壇の植栽・整備 ゲストティーチャーコーディネート

実施校	開始年度	主な活動内容
金 富 小	平成24年度	読み聞かせボランティア 登下校時の安全指導支援 環境整備支援（落葉掃き等） 防災宿泊体験時の手伝い
窪 町 小	平成20年度	図書館ボランティアによる図書室開放時の本の貸出・返却業務等 学習補助ボランティアによる行事引率補助・運動会のテント張り・片付け ボランティアによる菊づくりのサポート、朝の読み聞かせ
大 塚 小	平成22年度	登下校の安全見守り活動 読み聞かせ活動 図書館ボランティア 学校行事支援 学習支援活動（伝統工芸授業や昔遊び等）
湯 島 小	平成24年度	図書室の整備・植物の手入れ等、環境整備活動 1年生入学後の児童の登下校の安全確認 児童の植物栽培活動補助 校外学習の安全管理等
誠 之 小	平成20年度	英語指導補助 読み聞かせ活動 新入学児童の交通安全指導 部（クラブ）活動指導の実施 学校行事における警備補助 環境整備（花壇やウォータークーラー等の点検）
根 津 小	平成30年度	プリントの丸つけ等学習支援 朝の読み聞かせ 昔遊び指導支援 登下校安全指導 学校農園の草刈りと肥料やり
千 駄 木 小	平成27年度	保護者会時の児童の預かり・見守り支援 秋田県仙南小学校との交流サポート
汐 見 小	平成20年度	華道・茶道等伝統文化の体験支援 読み聞かせ活動 夏季水泳指導補助 登下校時のスクールガード活動 ふれあい給食のコーディネート
昭 和 小	平成26年度	動物飼育補助 学校行事補助 読み聞かせ活動 スクールガード活動 外国語活動支援
駒 本 小	平成20年度	留学生ボランティアによる外国語活動支援 箏の体験学習への支援 家庭科授業支援 放課後学習教室 高齢者グループホームとの交流事業支援
本 郷 小	平成23年度	スポーツテストの計測補助 朝遊びの運営 学校行事補助 夏季休業中の学校図書館の整備 読み聞かせ活動 登下校安全指導
第 一 中	令和元年度	英検・定期考査前の学習支援 運動会・学習発表会において受付業務、校庭整備等支援
第 六 中	平成29年度	放課後学習支援教室 学習室の環境整備
第 八 中	平成24年度	植栽整備 グリーンカーテンの設置による室温環境整備 学校行事支援
第 九 中	平成26年度	放課後の学習会の運営支援 玄関周辺の緑化美化活動 運動会等の学校行事支援 職場体験運営支援
文 林 中	平成27年度	学習支援ボランティア及び英会話講習の管理補助 校内の環境美化及び校内緑化 学校行事における受付・警備等
茗 台 中	平成30年度 (29年度設置)	地域教育協議会の開催 放課後学習支援 学校行事における受付補助 キャリア教育講座の講師手配・調整
音 羽 中	平成24年度	職場体験受入先との調整補助 職業講話講師手配 運動会・防災宿泊学習の補助 グラウンドの落ち葉掃き

(3) 放課後等学習支援ボランティア事業

区内小・中学生の学力向上、学習の習慣づけ等を目指し、放課後等課外に定期継続的な学習指導を実施した。指導者は、地域住民や大学生・大学院生、教員OB、教育関係NPO等が担っている。指導内容は、5教科（国語・算数/数学・理科・社会・英語）で、令和3年3月現在、区立小学校5校、区立中学校8校及び文京区社会教育関係団体である「学びの広場」で実施している。

2 講座・研修会

(1) 家庭教育講座

昭和39年度から、家庭における教育を充実させるため、子育ての方法、知識の修得や子どもとの接し方などの学習を目的として開設している。平成19年度から、子どもの学年にとらわれることなく、誰でも自由に参加できるように、対象年齢によるコース制を廃止した。令和2年度は、年間を通じて7講座を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響で1講座を中止した。また会場の定員制限に合わせて開催した。

(単位:人)

月 日	内 容	講 師	参加者数
6月11日	大人の自転車安全教室 (中止により9月に順延)		中止
7月7日	読書感想文の書き方	文章力養成コーチ 松嶋 有香	17
8月18日	家庭でできる「お金教育」	キッズ・マネー・ステーション 八木 陽子	10
9月14日	大人の自転車安全教室	警視庁富坂警察署 交通課	4
10月9日	小学校の英語教育について	都留文科大学 教授 上原 明子	17
11月9日	性教育を家庭でどう伝えるか (子育て座談会)	NPO法人ピルコン 理事長 染矢 明日香	48
12月4日	思春期・反抗期にどう対応するか	NPO法人ハートフルコミュニケー ション 代表理事 菅原 裕子	41

(2) P T A 合同研修会

昭和 31 年度から、幼児・児童・生徒の健全な成長、育成を図るため、地域及び家庭における教育力向上を目的に P T A 合同研修会を開設している。令和 2 年度は、研修会の時期が新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間中となり、研修会を中止した。

(単位：人)

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
4 月 21 日	広報研修会			中止

3 安全・安心対策

(1) 防犯ブザーの支給

児童・生徒に対する事件・事故を未然に防ぎ、毎日安全に登下校できるようにするため、区立小学校を通して新 1 年生を対象に防犯ブザーを支給している。また、平成 18 年度からは、区立小学校以外に通う文京区在住の新小学 1 年生にも支給している。令和 2 年度は新規に 2,449 個を支給した。

(2) 学校安全ボランティア（スクールガード）

平成 17 年度から、区立小学校の児童の安全を確保するため、校内及び学校周辺の巡回や子どもたちの見守りを行う「学校安全ボランティア（スクールガード）」の活動を支援している。

各団体は P T A、町会、自治会等のボランティア参加者で構成され、事件や事故を未然に防ぎ、犯罪抑止効果を高めている。現在、区立小学校 20 校全てでスクールガードを発足し、令和 2 年度現在の登録者数は 2,667 名である。例年は、スクールガードの知識を深めることを目的とした連絡会を 2 回開催していたが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会のみ形式に変更し 1 回実施した。

また、スクールガードリーダーの巡回も、集団行動を避けるため、規模を縮小し、要望のあった小学校のみを事務局と巡回するにとどめて実施した。

スクールガード連絡会開催日程

(単位：人)

月 日	内 容	会 場	参加者数
6 月 23 日	講演「今こそ、見守りと助け合いの力を コロナ禍における子どもの 防犯対策」 (講師：うさぎママのパトロール教室主宰 武田信彦)	スカイホール	26
12 月 3 日	警察署員（区内 4 警察）による子どもを取り巻く事件・事故の状況報告および情報交換		中止

(3) 学校・幼稚園情報連絡配信システム

平成22年度から、学校・幼稚園情報連絡配信システムを導入している。学校・園の緊急情報等をメール・電話・FAX・LINEで受け取ることが出来、迅速かつ正確な情報伝達が図れている。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因して学校・園の対応等が頻繁に配信され、区立学校・園の教職員と保護者に対して、1人当たり年間約78.8回と、最大の配信数となった。内容も新型コロナウイルス感染症関連が半数以上を占め、次いで学校行事等の情報などに利用された。

4 青少年委員による学校支援活動の推進

各区立小学校・中学校から選出された青少年委員が、学校と地域のパイプ役となり、学校支援を行うほか、全校横断的な事業として、中学生サミットや遊びと学びのキャラバン隊等を実施し、子どもたちの様々な活動を支援している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、当初6月予定の中学生サミット連絡会を7月に延期して実施した。

(単位：人)

月 日	事 業	内 容	参加者数
6月26日	学校関係者合同研修会 (五者合同研修会)		中止
7月18日	中学生サミット連絡会①	区立中学校の生徒会役員で、テーマに沿った意見発表・情報交換を行った。 (Zoomによるオンライン開催)	100
7月19日	遊びと学びのキャラバン隊 (小学生向け事業) ①		中止
11月15日	クリーンウォーク		中止
12月5日	中学生サミット連絡会②		中止
1月11日	はたちのつどい 「文の恩返し」		中止
2月14日	遊びと学びのキャラバン隊 (小学生向け事業) ②		中止